



医師会 健康講座

アレルギー免疫療法

たけだ耳鼻咽喉医院（丸之内） 竹田 一彦



「アレルギー」とは本来、体の外から入ってきた細菌やウィルスを防いだり、体の中でできたがん細胞を排除したりするのに不可欠な免疫反応が、花粉、ダニ、ほこり、食べものなどに対して過剰に起こることを言います。過剰な免疫反応の原因となる花粉などを「アレルギー」と言います。

現在、アレルギー疾患に対する治療のほとんどは、出ている症状を抑える「対症療法」です。一方、アレルギーの作用機序に直接働きかけて根治を目指して行う治療法に「アレルギー免疫療法」があります。以前は、「減感作療法」と呼ばれていたものです。

アレルギー免疫療法の原理は、少量のアレルギーを体内に年単位で持続的に投与することで体を慣

れさせて、実際に外界からアレルギーが侵入してきてもアレルギー反応を起こさなくなる（減感作）というものです。以前は皮下注射で行われていたため、その都度通院が必要でした。今回は、昨年10月に発売された薬剤を使用する「スギ花粉症に対する舌下免疫療法」についてご説明します。

舌下免疫療法は、皮下注射ではなく舌の下に薬液を滴下することにより減感作を行うため、ご自宅で簡単にできる便利な治療法と言えます。

しかし、この治療法には何点か気を付けていただかなくてはならない事項があります。

①必ず良くなるという保証がないこと。

約2割の人は効果がありません。

ん。どのような人が効果を得られないか、という予測もできません。

②少なくとも3年間、毎日、舌の下に決められた量の薬液を落とす続けなければならないこと。

③アナフィラキシーショックと呼ばれるような命にかかわる副作用が絶対に生じないとは言えません。副作用の発生する場所が病院外であるということに注意が必要です。

以上の3点は、絶対にご理解いただかなければなりません。

また、花粉飛散期（1～5月）には治療を開始できないこと。血液検査によるスギ花粉症の確認が

必要であること。薬液を処方できる医師が限定されており、初回は総合病院を受診していただく必要があります。治療できる患者さんは、12歳から65歳までであることなど、条件が決められています。

このように厳しいことを言いましたが、厚生労働省に認可された薬ですし、舌下免疫療法はヨーロッパでは盛んに行われているようです。ご興味・ご関心のある方は、一度、耳鼻咽喉科へお越しください。

